

巻末資料 3-3

啓発資材 3. 「CDR part3:情報共有編（非医療職の多職種対象）」

*実際には，投射可能なスライド資料として制作された。

チャイルド・デス・レビュー Child Death Review (CDR)

Part3： 情報共有編 (非医療職の多職種対象)

対象者

- ・ 医療職以外の専門職で、これからCDRに関わる方
- ・ 情報共有のための調査票について学びたい方

令和2度厚生労働科学研究費
補助金事業（沼口班）

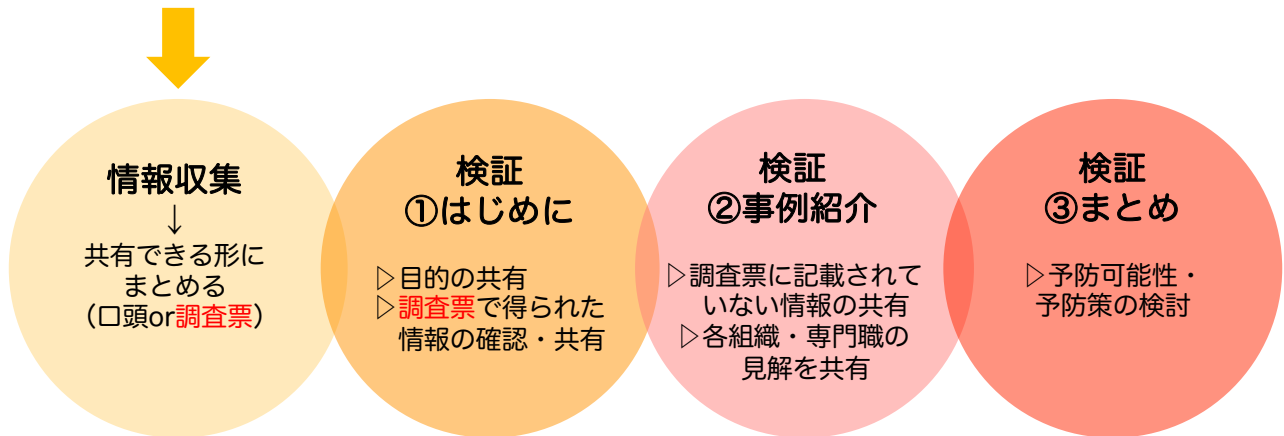
作成日：2021年3月1日
担当：沼口、山岡、内田

内 容

1. **個別**検証を行うために必要な準備とは
情報共有で得られるメリット
情報共有する際の注意事項
2. 死亡調査票について
調査票の全体像
3. 記入時の注意事項

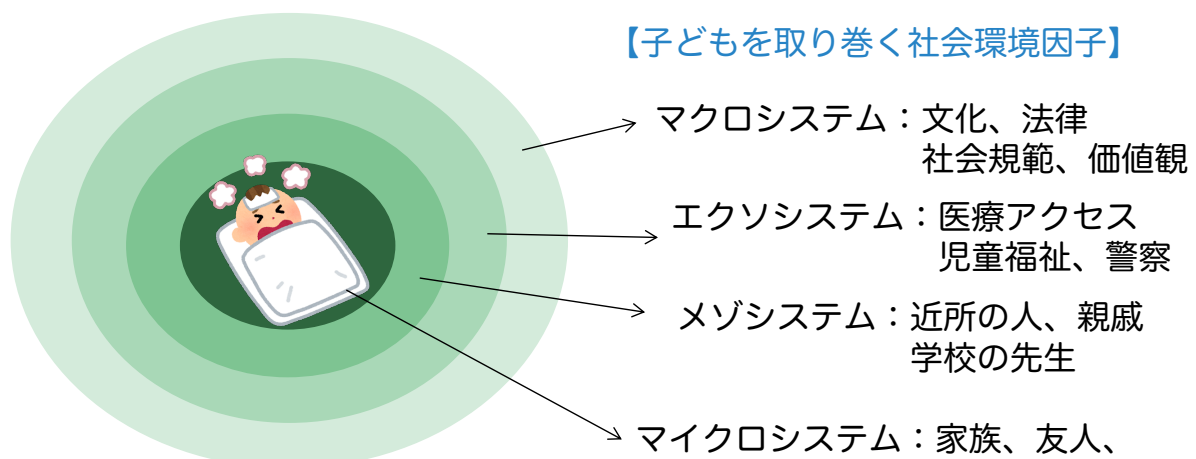
個別事例検証の流れ

- 情報収集後多職種で集まり、**個別事例検証**を行います。
- 本資料では、情報収集に関する部分を説明します。



1. 検証を行うために必要な準備とは

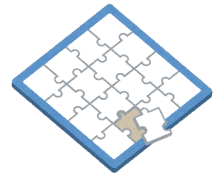
- 死にいたる過程を包括的に理解し、予防策を総合的に検証するには、子どもを取り巻く様々な要因を検討する必要があります。
- そのためには、多職種から情報が不可欠となります。



1-1.情報を集めることで得られるメリット

多職種の情報を集めることで得られるメリットは沢山あります。

- 家族の社会背景・家庭環境をより深く理解できる
- 時系列での経過を把握することができる
- それぞれの職種がどのような情報を持っているのかがわかる
- どのような状況でその時判断したのかが理解できる
- どのような情報があれば、別の判断ができたかが検討できる
- 複数の事例を集めて、傾向を知ることができる



1-2.医療職以外の専門職への期待

例えば医療職は受診してからの様子しか把握していないため、他職種の方々に普段の状況を聞いてみたいと思っています。検証を通じて事例の理解を深め、価値観や判断を共有することができます。

- 普段の保育園や学校での様子
- 保健・福祉サービスを利用したときの様子
- 死亡現場や事故現場の状況
- 保護者や周りの家族の人の言動

家庭訪問での
親子の様子は
どうでしたか？



事故現場の様子は
どんな感じでしたか？



1-3. 個人情報共有の際の注意事項

個人情報を共有することに、不安や懸念を感じる人も多いと思います。
検証する会議では、以下の情報は匿名化した上で、検討会を行います。

【共有しない情報】

- × (子どもの) 名前
- × 生年月日・死亡年月日



会議に参加する人は、機密保持の同意書にサインをして、参加します。

【会議参加の条件】

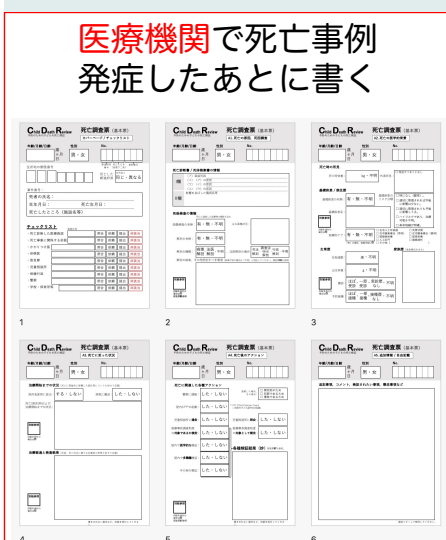
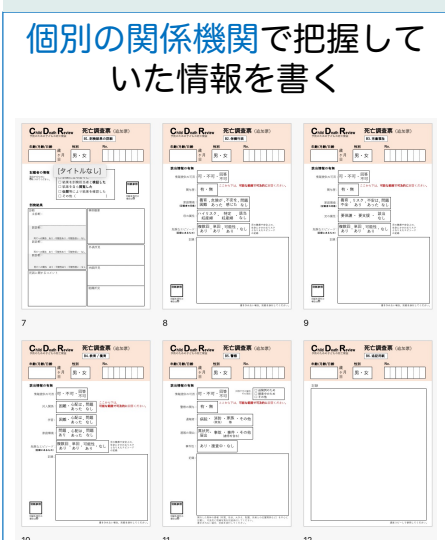
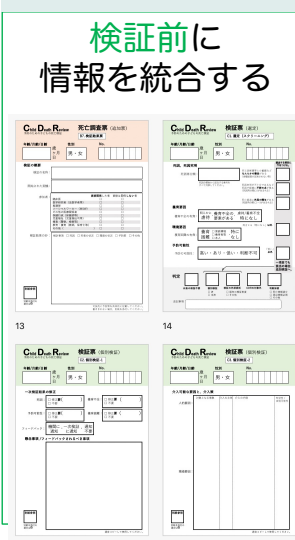
- × 知り得た情報を会議の外では話さない
- × インターネット・SNSには書かない



2. 死亡調査票について

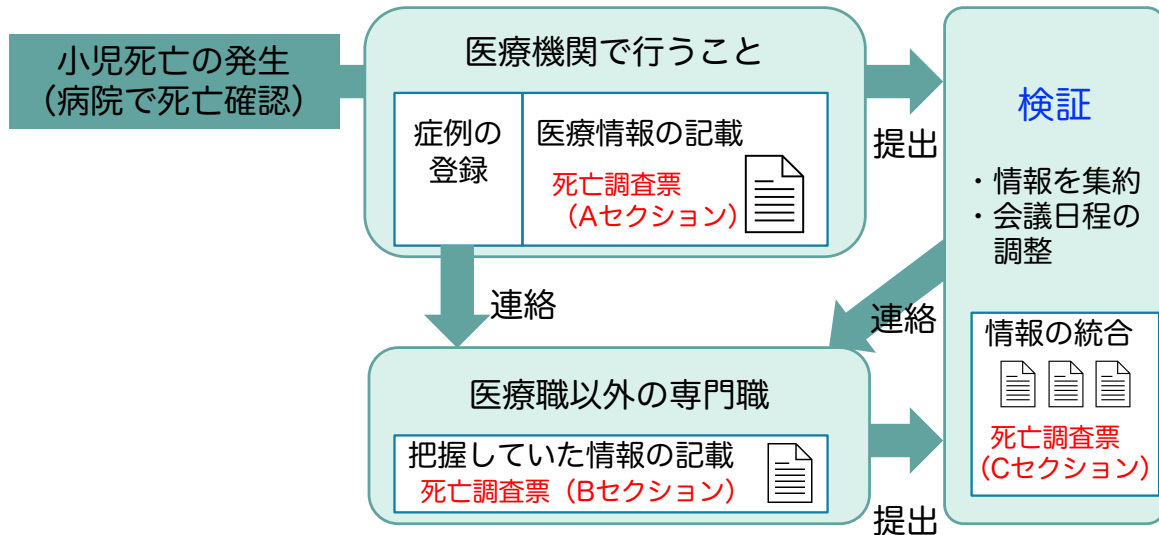
2-1. 調査票の全体像

- 全部で16ページあり、構成は以下の3つのパートに分かれています。

Aセクション	Bセクション	Cセクション
医療機関で死亡事例 発症したあとに書く	個別の関係機関で把握して いた情報を書く	検証前に 情報を統合する
		

2-2. 情報収集の流れ

- 死亡確認後、医療機関で死亡調査票のAパートをまず記載します



2-3. 医療職が担当する死亡調査票について (Aセクション、B1)

【AセクションとB1の概要】

- Aセクション全体とBセクション1**は、医療関係者が記載します。
- その情報は検討会議で、**個人情報**を匿名化した形で共有されます。

The image displays six screenshots of the Child Death Review form, numbered 1 through 6, showing the structure of sections A1 through B1.

- 1. A1 セクションのまとめ**: Overview of the A1 section, including fields for date of death, sex, and age.
- 2. A2 死因**: Section A2, detailing the cause of death.
- 3. A3 医学的背景**: Section A3, providing medical background information.
- 4. A4 死に至る経過**: Section A4, describing the course of events leading to death.
- 5. A5 死亡後の対応**: Section A5, detailing the response after death.
- 6. B1 解剖結果**: Section B1, providing the results of the autopsy.

3. 記入時の注意事項

【記入者：保健行政の関係者】

B-2：保健行政

- ① 面談、乳幼児健診や家庭訪問などの情報から、**何らかの支援が必要であると考えられ、面談や電話相談、家庭訪問などをしたことがある場合は、関与歴あり**としてください。
- ② 以下の場合、○をつけてください。
養育困難：衣食住が不適切であったり、虐待のおそれや社会的な問題を抱え、支援が必要と考えられた家庭であった場合
危険があった：過去に入院を必要とする・複数回治療を必要とするような事故によるけが、必要な医療を受けさせないで生じた健康被害などがあった
不安を感じた：育児ストレス、産後うつ、子育てへの強い不安や孤立感などを抱え、養育状況に懸念事項があった場合
- ③ ここでは、以下の定義で○をつけてください。
特定妊婦：要体協として要支援・把握していたか
ハイリスク妊婦：特定妊婦ではないが、身体的・精神的リスクがあった
該当なし：リスクなし
判断不可：妊娠期の情報がない場合
- ④ **危険なエピソード**とは、過去に入院を必要とするような事故によるけが、必要な医療を受けさせないで生じた健康被害などを指す

Child Death Review 死亡調査票（追加票）
 予防のための子どもの死亡検証

B2. 保健行政

年齢/月齢/日齢 3 歳 性別 男 No. 3721099

該当情報の有無

情報提供の可否 ☒ 可 ☐ 不可・回答不可

① 関与歴 ☒ 有 ☐ 無

② 家庭環境（記載者の印象）
 養育・危険が・不安を・問題
 困難 あった 感じた なし

③ 母の属性
 ハイリスク・特定・該当
 妊産婦 妊産婦 なし

④ 危険なエピソード（記録にあるもの）
 複数回・単回・可能性・なし
 あり あり あり なし

記録：気づいたこと、気になっていたことを、ここに書いてください

別紙参照
 別紙を添付の場合は

書ききれない場合、別紙を添付してください。

3. 記入時の注意事項

【記入者：児童福祉機関の関係者】

B-3：児童福祉

- ① 通告・相談を受けて、**調査、支援、家庭訪問、一時保護、措置分離などを行ったことがある場合は、関与歴あり**としてください。
 *通告ありの場合、何をしたかの選択肢
 調査、支援、家庭訪問、一時保護、措置分離
- ② 以下の場合、○をつけてください。
養育不全：衣食住が不適切であったり、虐待のおそれや社会的な問題を抱え、支援が必要な状況があった
リスクあり：入院につながるような事故や必要な医療を受けさせないで生じる疾患のリスクがあった
不安を感じた：育児ストレス、産後うつ、子育てへの強い不安や孤立感などを抱え、養育状況に懸念事項があった
- ③ ここでは、以下の定義で○をつけてください。
要保護：一時保護、措置あり
要支援：一時保護はしていないが、面談・家庭訪問・心理療法などを行ったことがある
該当なし：関与歴なしの場合
- ④ **危険なエピソード**とは、過去に入院を必要とするような事故によるけが、必要な医療を受けさせないで生じた健康被害などを指す

Child Death Review 死亡調査票（追加票）
 予防のための子どもの死亡検証

B3. 児童福祉

年齢/月齢/日齢 3 歳 性別 男 No. 3721099

該当情報の有無

情報提供の可否 ☒ 可 ☐ 不可・回答不可

① 関与歴 ☒ 有 ☐ 無

② 家庭環境（記載者の印象）
 養育・リスク・不安は・問題
 不全 あり あった なし

③ 児の属性
 要保護・要支援・該当
 なし なし なし

④ 危険なエピソード（記録にあるもの）
 複数回・単回・可能性・なし
 あり あり あり なし

記録：気づいたこと、気になっていたことを、ここに書いてください

別紙参照
 別紙を添付の場合は

書ききれない場合、別紙を添付してください。

3. 記入時の注意事項

【記入者：**保育園・幼稚園・学校の関係者**】

B-4：教育・養育

- ① 以下の場合、○をつけてください。
対人関係困難：発達障害や問題行動などで教員や友人との人間関係のトラブルがあった場合
対人関係心配あり：発達障害や問題行動などで教員や友人との人間関係を築くことに懸念があった場合
- ② 以下の場合、○をつけてください。
学習困難：発達障害や問題行動などで授業理解や学習態度に問題があった場合
学習心配あり：発達障害や問題行動などで授業理解や学習態度に懸念があった場合
- ③ ここでは、以下の定義で○をつけてください。
家庭環境問題あり：虐待のおそれがあったり、社会的問題を抱えており困難な養育状況であった場合
家庭環境心配あり：養育状況に懸念事項があった場合
- ④ **危険なエピソード**とは、特に死亡につながるような事故（疾患も含む）に関連するリスクが認められたことがあった（例：入院を必要とするような事故、必要な医療を受けさせないで生じた健康被害の既往など）

Child Death Review 死亡調査票（追加票）
 予防のための子どもの死亡検証

B4. 教育・養育

年齢/月齢/日齢 歳 月 日 性別 ☒ 男 ☐ 女 No.

該当情報の有無

情報提供の可否 ☒ 可 ☐ 不可 ☐ 回答不可

① 対人関係：困難・心配はあった ☒ 問題あり ☐ 問題なし ☐ 問題なし ☐ 問題なし

② 学習：困難・心配はあった ☒ 問題あり ☐ 問題なし ☐ 問題なし ☐ 問題なし

③ 家庭環境：問題あり ☒ 心配はあった ☐ 問題あり ☐ 問題なし ☐ 問題なし

危険なエピソード（記録にあるもの） 複数回 ☐ あり ☐ 単回 ☐ あり ☐ 可能性 ☐ あり ☒ なし ☐ なし

④ 記録：1歳3ヶ月より当園で保育開始。両親とも就労。はじめの4ヶ月程度は見守りが強かったが、以降は保育者によく懐いた。基本は母親が自家用車で送迎し、週1回程度は父親が迎えにきた。稀に30分程度の延長保育の希望があった。家庭内の状況は円満な様子で、家庭内の不和などを訴えたことはない。お絵かきなどでは両親と7歳の兄と本人の4人が並んで絵を好んで描いていた。食べ物の好き嫌いなし、アレルギーや病気の申告なし。水遊びは好きなようで、夏場のプール遊びを終了する際に、まだ遊びたいと泣くことがあった。

別紙参照
 別紙を添付の場合は ☒

書ききれない場合、別紙を添付してください。

記入者【警察の関係者】

B-5：警察



事例の概要について情報提供を受ける際に **口頭説明による**こととされます。この場合に本書式にメモ等を作成することは可能です。また、図示して説明する必要がある場合や、書面等を用いた説明が相当の場合には、書面の交付を受けることも可能です。（令和3年度モデル事業の手引き）

Child Death Review 死亡調査票（追加票）
 予防のための子どもの死亡検証

B5. 警察

年齢/月齢/日齢 歳 月 日 性別 ☒ 男 ☐ 女 No.

該当情報の有無

情報提供の可否 ☒ 可 ☐ 不可 ☐ 回答不可

警察の関与： ☒ 有 ☐ 無

通報者：病院 ☒ 消防（救急） ☐ 家族等 ☐ その他

通報の理由：死因不明 ☒ 事故 ☐ 事件 ☐ その他（虐待を含む）

事件性：あり・捜査中 ☒ なし ☐ なし

記録：（例：○○が△△より聞き取った内容を記載、■の文書を開覧にて記載、など）

別紙参照
 別紙を添付の場合は ☒

関与した物体の情報（材質、性状、大きさ、配置、死者との位置関係など）を中心に記載し、可及的に現場写真を別途添付してください。書ききれない場合、別紙を添付してください。

記入者【その他の関係者】

B-6：
その他

Child Death Review
予防のための子どもの死亡検証

死亡調査票（追加票）

B6. 追記用紙

年齢/月齢/日齢

3 歳 月 日

性別

男 女

No.

3721 099

記録

適宜コピーして使用してください。

記入者【その他の関係者】

B-7：
検証結果票

Child Death Review
予防のための子どもの死亡検証

死亡調査票（追加票）

B7. 検証結果票

年齢/月齢/日齢

3 歳 月 日

性別

男 女

No.

3721 099

検証の概要

検証の名称： 救急搬送症例検討会

開始された契機： 3ヶ月に1回の定例開催

参加者：

	直接関係した者	直接は関係しない者
臨床医	☒	☒
医学研究者（法医学者等）	☒	☒
看護師	☐	☐
ソーシャルワーカー（MSW）	☐	☒
その他の医療関係者	☐	☐
保健行政（保健師等）	☐	☐
児童福祉（児童福祉司等）	☐	☐
検査（警察、検察等）	☐	☐
教育・養育（教師、保育士等）	☐	☐
その他（救急救命士、防災課）	☒	☒

検証結果の抄： 検討事項 ☐ 死因 ☐ 死者の状況 ☐ 環境の状況 ☒ 予防策 ☒ その他

・救急隊による蘇生、搬送に問題なし。
・乳幼児への気道確保について、気管挿管ではなくとも確実なバッグ・バルブ・マスクを行い、十分に換気するのによい。
・自宅浴槽への転落・溺水であり、救命不可と思われる。

・市民への乳幼児蘇生の啓発は効果的に行われている。
・屋内溺水予防にかかる安全教育は誰が行うか。

別紙参照

別紙を添付の場合は

可及的に予防策を具体的に記載してください。
書ききれない場合、別紙を添付してください。

- ① 何らかの会議（CDRとしての個別事例検証会以外）が行われた場合、記載してください

Part 3: 情報共有編

まとめ

- 予防策を検討するためには、**多機関から多面的・多角的な情報を収集して共有**することが大切です。
- 調査票で集められた情報は、なるべく**同じ基準で記入**していくことで、情報の質を担保します。
- 多職種で検討する際には、**個人情報**を共有せずに話し合い、また参加者は**機密保持の義務**があります。
- 検討する際には、調査票で集められた以外の情報も**口頭で共有**し、理解を深めることもあります。



具体的な検討会の様子を紹介する「**模擬動画**」がありますので、そちらをご覧ください。
決まったルールなどはありませんので、各地域で工夫して実践してください。